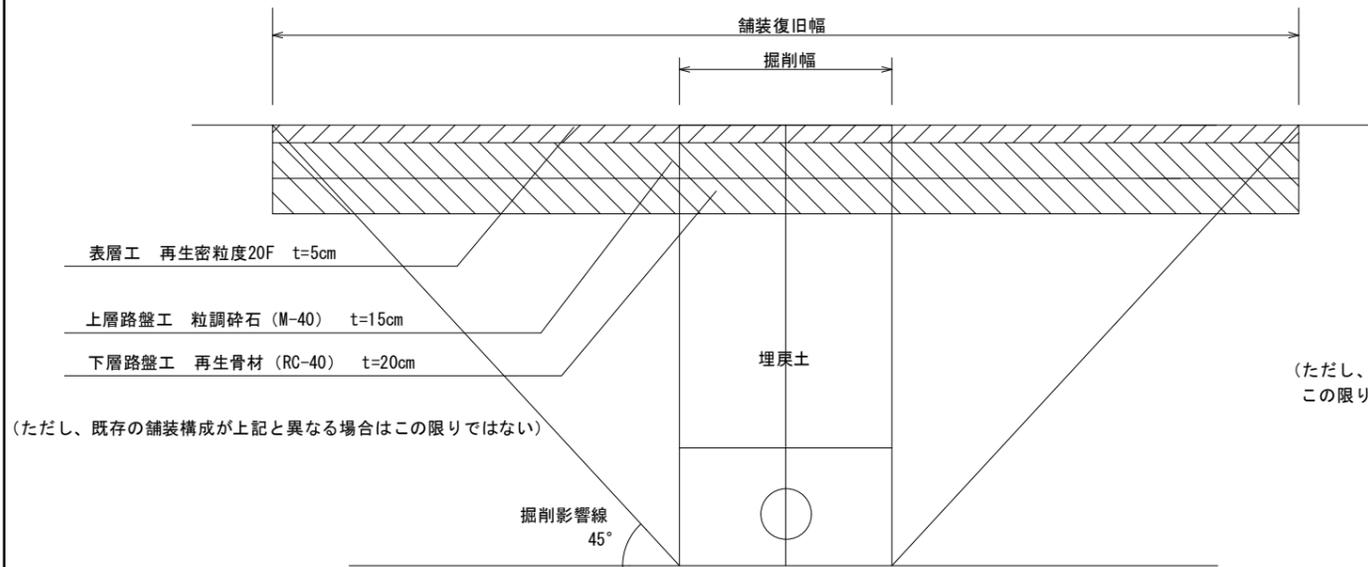
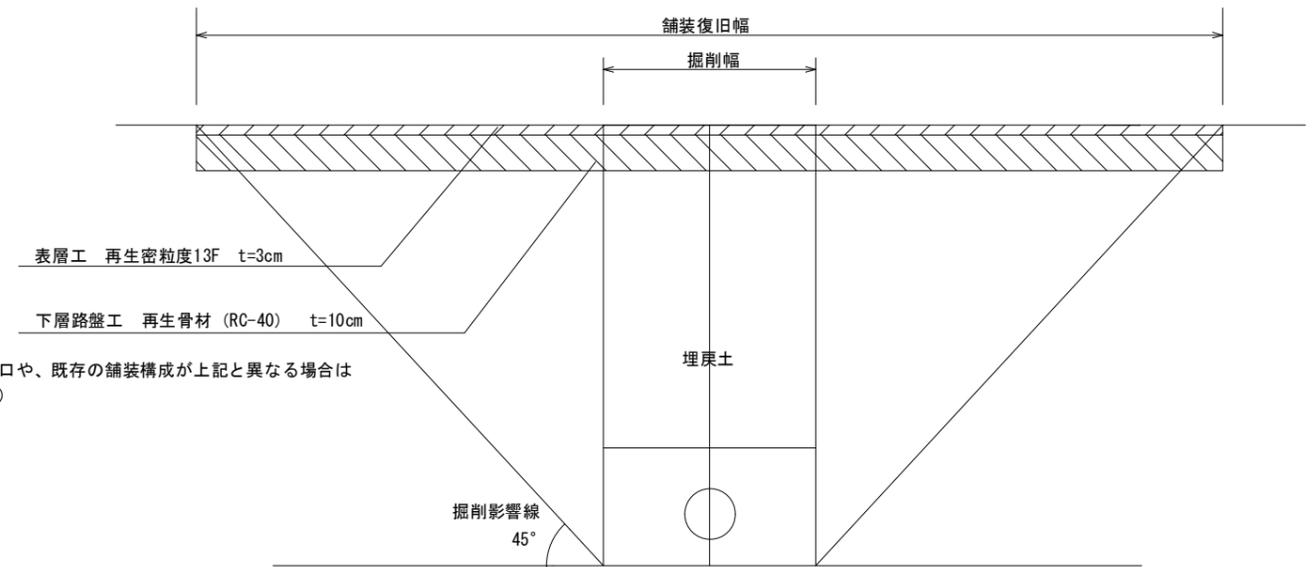


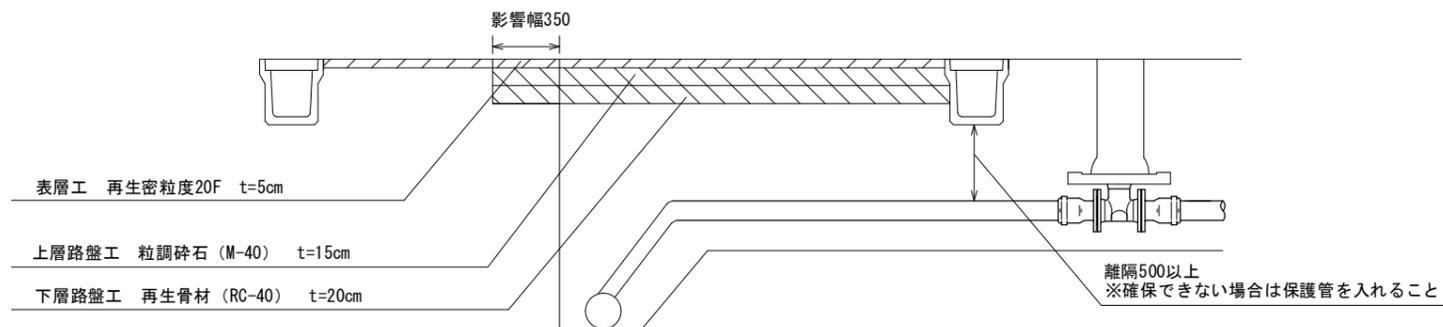
車道部



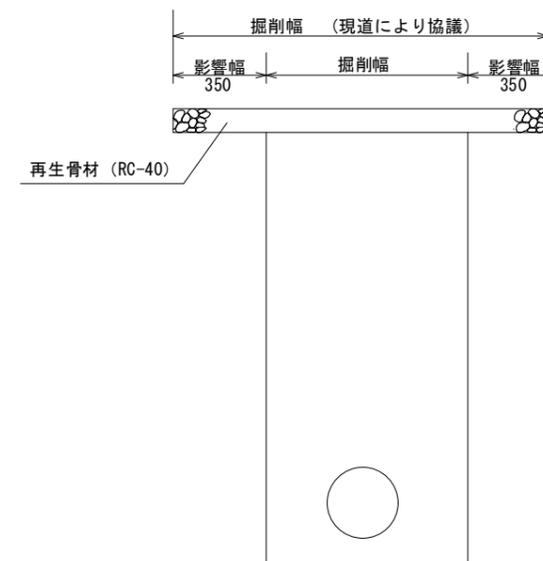
歩道部



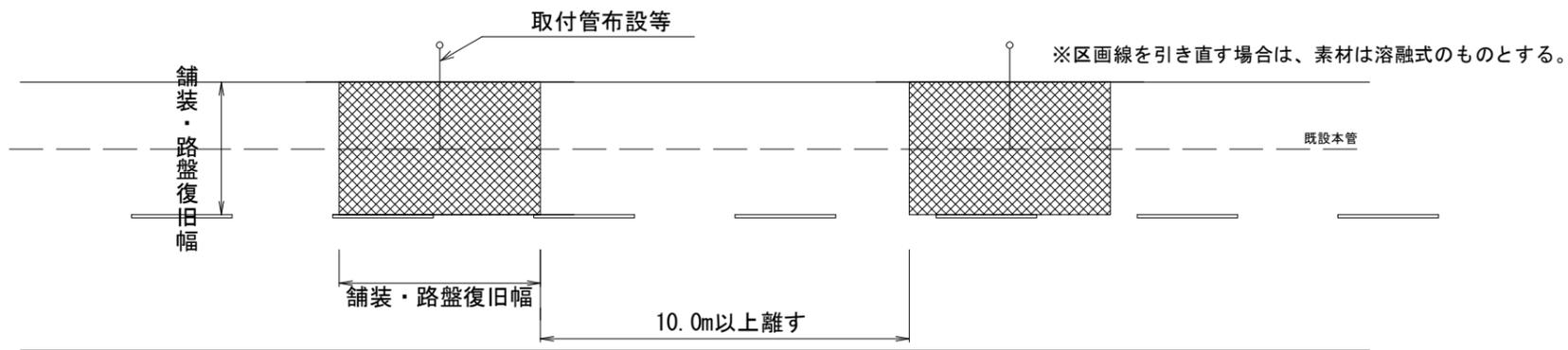
断面図



砂利道

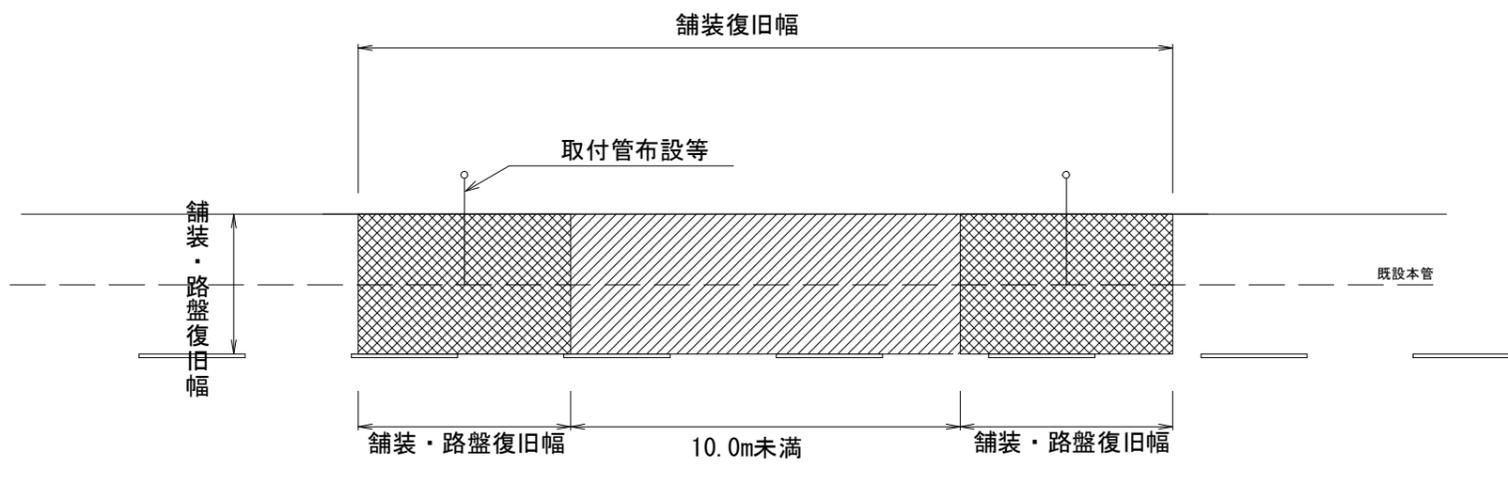


- ・横断方向の路盤復旧幅は45°の角度立ち上げとする
- ・縦断について復旧幅は35cmとする。(半車線を越える場合は半車線までとする)
- ・掘削の影響線は掘削深から路盤及び舗装復旧幅を決定する

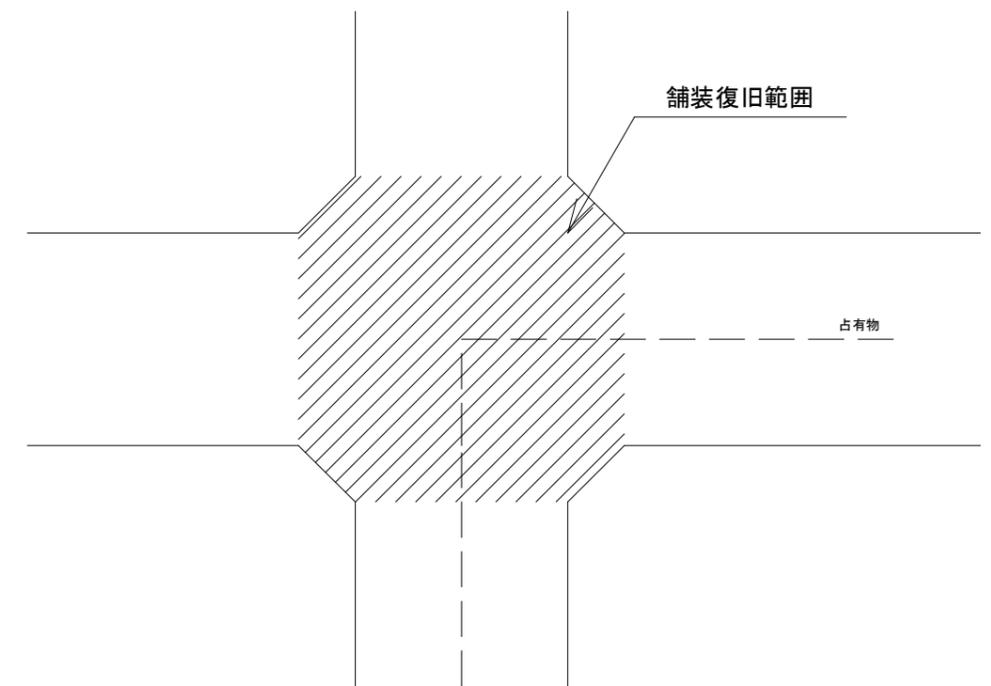


※2か所以上の施工をする際は10m以上離すこと
 (離すことができない場合は下記による)

※舗装復旧幅は、幅員が6m未満は全面復旧、
 6.0以上は半車線復旧とする。
 中央線がない場合は全面復旧とする。

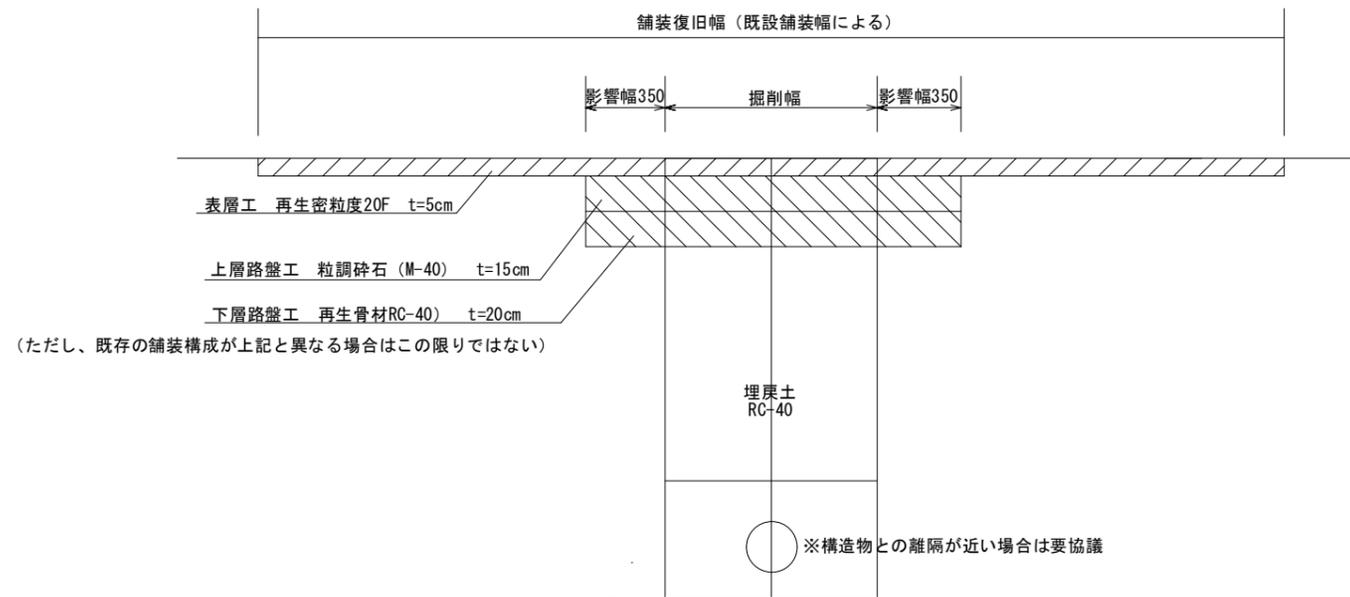


※施工箇所が10m未満の場合は一連で復旧すること。

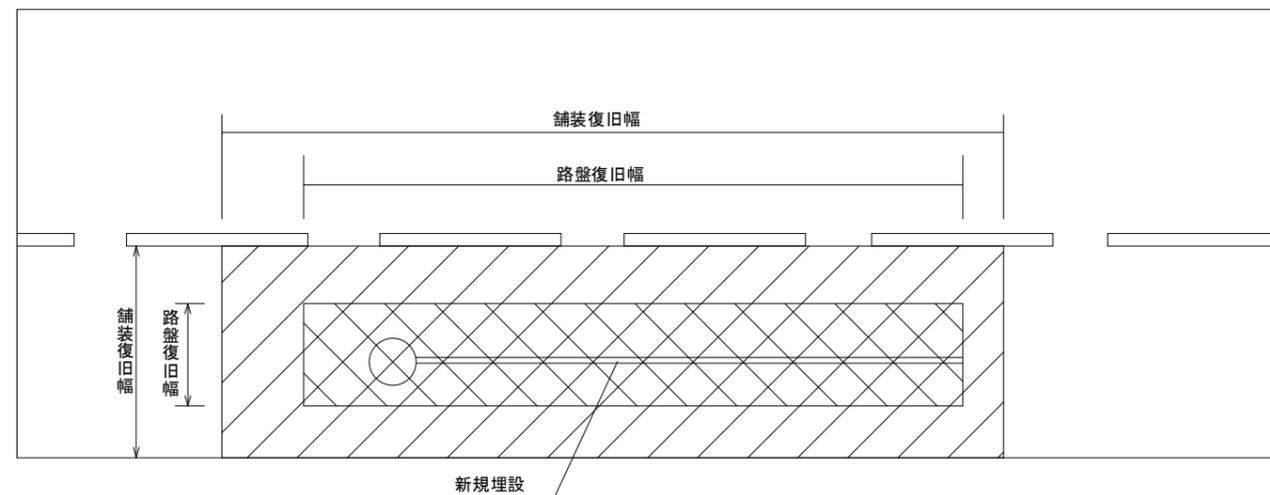


※交差点内で占用する場合、原則交差点内全面復旧とする。
 (交差点については形状が様々であるため、
 担当者と協議すること。)

縦断方向断面図（車道部）



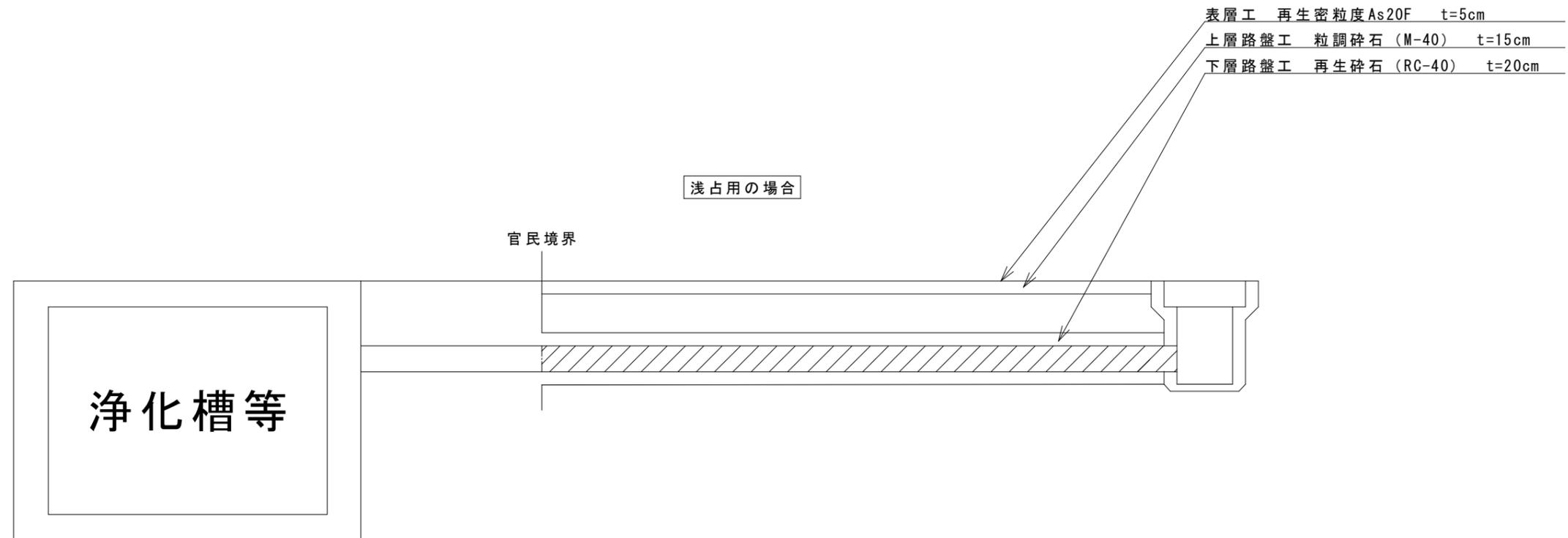
- ・ 舗装復旧幅は既設舗装幅が6.0m未満は全面復旧。6.0以上は半車線復旧とする。
6.0m以上の場合でも中央線がない場合は全面復旧とする
- ・ 縦断方向に対する路盤の復旧幅は、掘削幅より35cm分とする。



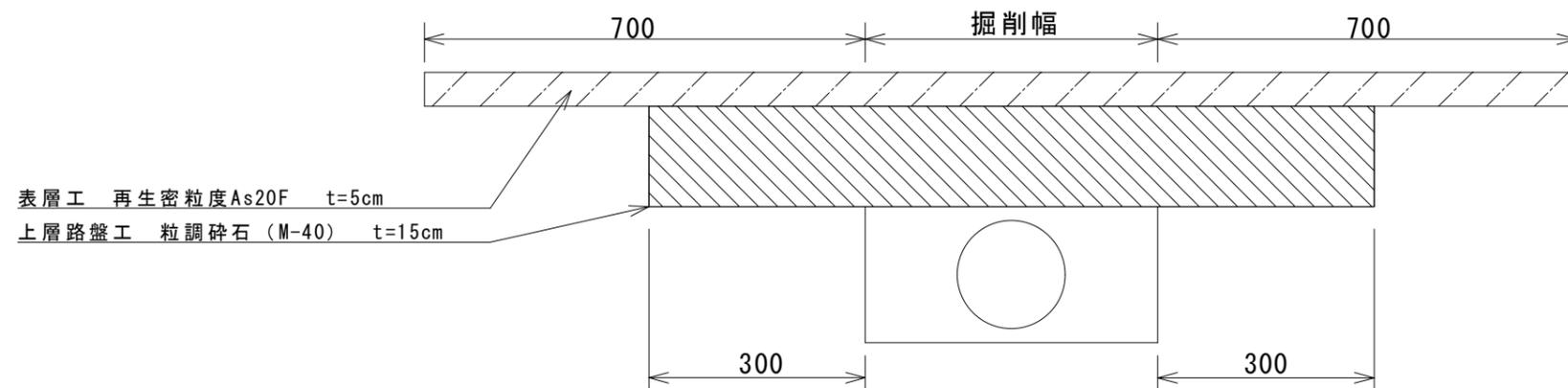
※センターライン手前で舗装切断とする
センター付近に既存のカッターラインがある場合はそこで切断とする。
担当者で協議すること。

※復旧の形が歪な場合は、一帯で復旧とする

断面図



※ 路盤内に占用する場合は、SGP（サヤ管）またはリブ管を使用し、路盤材で埋戻しすること。



表層舗装復旧の考え方について

道路占用の表層復旧範囲は掘削範囲+影響範囲であるが、掘削の中心から5mの範囲内に舗装継目（カッター跡）等がある場合は、その部分まで表層を復旧する。

